

地方独立行政法人 宮城県立病院機構 第2回理事会議事録

日 時：平成24年11月28日（水）午前10時から午後0時10分まで

場 所：本部事務局会議室（県庁12階）

出席者：菅村理事長（議長），熊谷副理事長，片倉理事，紙屋理事，小高理事，近藤理事，近内理事，西條理事，小山監事，柳川監事

1 議 題

（1）寄付金取扱規程の一部改正について

- ・ 事務局から，寄附者への礼状送付の改正について説明。
- ・ その後採決を行い，原案のとおり了承された。

（2）平成25年度当初予算編成方針について

- ・ 事務局から，平成25年度当初予算編成方針について説明。
- ・ 理事より，平成25年度当初予算要求要領ではなく平成25年度当初予算編成要領に文言を修正してはどうかとの意見があり，事務局から修正する旨回答した。
- ・ 理事から，収益確保に向けて診療科別に算出し目標値を設定すると記載するべきではないか，また，経営努力目標値とあるが，経営努力という文言は必要ないのではないかと等の指摘があり，事務局から，検討する旨回答した。
- ・ 監事から，法人全体で経常収支を黒字にする，資金収支を均衡させるとあるが，病院ごとには難しいのか質問があり，事務局から3病院それぞれが高度専門医療を提供しているため，収益を上げやすい病院と上げにくい病院があるので，法人全体で記載した旨回答した。
- ・ その後採決を行い，一部修正の上，了承された。

2 報告事項

（1）平成24年度上半期の決算状況について

- ・ 事務局及び各病院から，平成24年度上半期の決算状況について報告。
- ・ 理事から，キャッシュ・フローについて質問があり，事務局から見込みを説明した。
- ・ 監事から，循環器・呼吸器病センターの診療体制について質問があり，理事長から，がんセンターと東北大学の応援で医師を確保していくが，平成26年までには方向性を示したい旨回答した。
- ・ 監事から，循環器・呼吸器病センターのスタッフ数について質問があり，循環器・呼吸器病センターからスタッフが医師の業務をカバーしているため，現状を維持する旨回答した。

（2）県北基幹病院機能連携会議について

- ・ 事務局から，県北基幹病院機能連携会議について報告。
- ・ 理事から，循環器・呼吸器病センターの地域に患者がいるのかとの質問があり，循環器・呼吸器病センターから，登米地区の患者が非常に多いので，循環器科・消化器科の内科系の患者ニーズは充分ある旨回答した。

- ・ 理事から、循環器・呼吸器病センターが内科病院として診療していくのであれば、総合内科研修病院にすれば、医師が集まりやすいのではないかとの意見があった。
 - ・ 理事から、心臓リハビリテーションのニーズは非常に高い、また、心臓リハビリテーションに関心がある医師がいるのではないかとの意見があった。
 - ・ 理事から、循環器・呼吸器病センター職員の危機感やモチベーションはあるのか、また、チーム会議の構成メンバーについて質問があり、循環器・呼吸器病センターから、メンバーは勤務経験4・5年の職員から部長クラスまでとし、全体会議は、傍聴と発言を自由としたため、改善意識は職員全体に持つことができた旨回答した。
 - ・ 理事から、チーム会議では建設的な意見があったのか質問があり、循環器・呼吸器病センターから、建設的な意見は多数あり、やれることから実施している旨回答した。
- (3) 職員採用試験の実施状況について
- ・ 事務局から、職員採用試験の実施状況について報告。

以 上